

2019年4月

各都道府県教育委員会教育長 様
各市町村教育委員会教育長 様
各学校・幼稚園長 様
各算数・数学教育関係者 様

数学教育実践研究会会長 蔵原清人

数実研・第69回
算数・数学教育研究全国大会案内
(第2次案内)

全ての子どもたちに生きる力となる
算数・数学教育を

日程 2019年8月3日(土)～4日(日)

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター
センター棟402 他

〒151-0052東京都渋谷区代々木神園町3-1

主催 数学教育実践研究会(数実研)

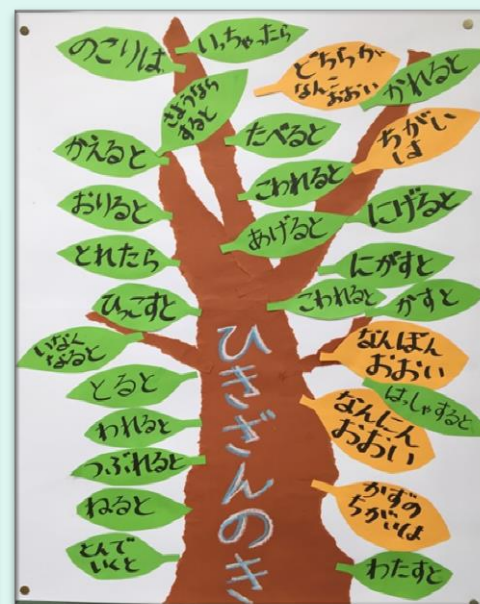
全体講演 8月3日(土)9:45～ センター棟402

「生きる力を支え励ます授業を目指して

...夜間中学校の自主教材開発の実践から...」

見城慶和先生


1961年から42年間都内の公立中学校夜間部に勤務。
長年の実績が評価され、1999年吉川英治文化賞受賞。
山田洋次監督の映画「学校Ⅰ」のモデルの一人。
定年退職後もなお、夜間中学生を中心とした学びの場
「えんぴつの会」を運営。



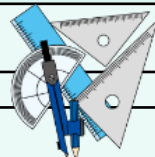
小学校1年生
ひき算はどういう場面で使われるか、その言葉を子供たちと集め、ひき算の木にまとめます。

この研究会では、* 授業をどう組み立てるか * どんな活動をさせるといいかなど、明日の算数の授業に役立つより良い授業の実践を探っています。日頃の授業の中に見える子供たちの様子についても大いに交流し合ひましょう。 ご参加をお待ちしています。

8月3日(土) 69回大会 1日目

9:00	受付			
9:30	はじめの会	会長挨拶 蔵原 清人(数学教育実践研究会会長 工学院大学)		
9:45 ～ 11:30	全体講演	<p>「生きる力を支え励ます授業を目指して ...夜間中学校の自主教材開発の実践から...」</p> <p>見城 慶和 先生(1999年吉川英治文化賞受賞。「えんぴつの会」運営。) 不登校の若者たちを念頭に置いて「生きる力を支え励ます文法」の教材とその指導についてお話しいただきます。</p>		
昼食・休憩 11:30～13:00 (理事会 11:50～12:30)				
13:00	<h3>実践交流分科会</h3> <p>授業の実践を交流します。どんな授業をしたかったのか。子供たちの反応や理解。つまずきやすいところとその工夫。学習した算数・数学をどのように生かすか。等、参加者の皆様と一緒に学び合います。</p>			
	幼児・ 低学 年 特支	1年	くり上がりのたし算	石戸 敬子(東京・世田谷区)
		2年	長さ	諸岡 朋子(東京・品川区)
		特別支援学級での数と言語の指導		田中 純江(東京・武蔵野市)
		助言者	山本 佐江 (帝京平成大学) 高濱 圭子 (福岡・福岡市)	
	中学 年	3年	三角形	小泉 未紀(東京・杉並区)
		3年	重さ	大島 慧太郎(東京・調布市)
		3年	円と球	前川 律子(東京・府中市)
		発展途上の算数教育		吉田 華奈(広島大学大学院)
		助言者	森川 みや子 (東京・小金井市) 栗原 秀幸 (和光大学)	
	高学 年	6年	円を含む複合図形の面積	中村 八枝子(東京・東大和市)
		5年	分数のたし算とひき算	堀 健一(山形・酒田市)
		6年	速さ	藤崎 愛子(東京・調布市)
		助言者	蔵原 清人 (工学院大学) 三角 富士夫 (福岡・前福岡教育総研)	
	中 高 学 校	ミニ講演 「関数的な考え方」 瀬尾 祐貴 (大阪教育大学)		
		活用から学びを深める授業づくり		三森 裕史(神奈川・川崎市)
		体験から理解する数学		能登 幸雄(山形・山形市)
助言者		柏原 広雄(広島・尾道市) 石井 直紀(元日本大学)		
16:00				
16:10 ～ 17:00	会長講演	「全ての子どもたちの力となる算数・数学教育を進めよう」 蔵原 清人(数学教育実践研究会会長 工学院大学)		
17:10 ～ 19:00	懇親会	この日の出会いを大切に。算数・数学の話を交わし、より交流を深めましょう。(センター内レストラン予定)		

8月4日(日) 69回大会 2日目<小学校>



8:45	会員総会	
9:40	領域別実践講座<小学校>	
	各領域の学習内容について、ある学年の単元を中心としてその前後の学年で学習する内容との関連を考えます。また、小学校で学習する算数の内容の背後にある数学の世界について、講座で学びます。	
	数と計算	「数認識を育てようー体と生活を通してー」 高濱 圭子(福岡・福岡市) 「図形の面積の計算」 北原 清志(工学院大学)
	図形	「図形って楽しい」 斎藤 マリ(東京・日野市) 「協働の力を育てる図形学習」 栗原 秀幸(和光大学)
	量と測定 数量関係	「面積ー太閤検地図から考えてみようー」 大井 康嗣(山形・酒田市) 「面積って何だろう」 蔵原 清人(工学院大学)
12:00	昼食・休憩 12:00~13:00	
13:00	授業づくりワークショップ	
	数実研の授業実践をじっくりお話しします。授業で使う教材や子供たちに制作させたい作品を参加者の皆様と一緒に作ります。それらを生かした授業をさらに考えていきましょう。	
	1年	とけいーなんじなんぷんー 丸山 信子(東京・八王子市)
	2年	三角形と四角形ーひみつ見つけと敷きつめー 福留 優子(東京・調布市)
	3年	操作活動を通してわり算を学ぶ 高濱 俊雄(福岡・福岡市)
	4年	分数の ものさしを使って数の性質をみつけよう 佐藤 一夫(東京・三鷹市)
	5年	約数・倍数ーエラトスネスのふるいー 齋藤 有希子(山形・山形市)
	6年	比例ー5~6年の算数の総まとめとして 森川 みや子(東京・小金井市)
15:00		
15:10 ~ 16:00	おわりの会 (小中高合同)	小中高の分科会に出られていた方々が一つの場に集まり、大会で学んだことを、共有します。他の講座の資料も、お持ち帰りいただけます。

8月4日(日) 69回大会 2日目<中学・高校>

8:45	会員総会		
9:40	実践交流分科会<中学・高校>		
	一日目に引き続き、授業の実践を交流します。どんな授業をしたかったのか。子供たちの反応や理解つまずきやすいところとその工夫。学習した算数・数学をどのように生かすか。等、参加者の皆様と一緒に学び合います。		
	※途中、12:00~13:00は昼食・休憩となります。		
	ミニ講演 「発見ツールとしての 図形の論証」 柏原 広雄(広島・尾道市)		
	図形分野の実践	並木 哲也(山形・南陽市)	
	中学生は数学の授業で何を求めているのでしょうか	阿部 真一(東京・町田市)	
	中学校の授業の実際ーこれでいいのかー	保科 元(山形・庄内町)	
	助言者	柏原 広雄(広島・尾道市) 瀬尾 祐貴(大阪教育大学)	
	15:00		
	15:10 ~ 16:00	おわりの会 (小中高合同)	小中高の分科会に出られていた方々が一つの場に集まり、大会で学んだことを共有します。他の講座の資料も、お持ち帰りいただけます。

※発表者や内容は変わることもあります。ご了承ください。

参加されるみなさんへ

1 大会参加費

- ・4000円(2日間。1日のみの参加も4000円です。)
- ・学生は1000円



2 参加申し込みについて

①事前申し込み (7月22日まで)

- ・数実研ホームページからお申し込みください。<http://sujituken.aikotoba.jp/>
- ・当日、受付(センター棟402前)で参加費をお支払いください。
- ・7月22日までにメールで申し込んでいただいた場合、大会中に書籍の購入に使用できる500円分の金券を差し上げます。

②当日申し込み

- ・大会当日に、受付(センター棟402前)で参加票に記入の上、参加費をお支払いください。

3 実践発表希望の方へ

1日目 8月3日の実践交流分科会で、発表を希望される方は、以下の事をお知らせ下さい。

- ・氏名 ・希望の分科会名(低学年、中学年、高学年、中学校・高校)
- ・発表題名 ・キーワード(3~4つ)

6月30日(土)までに、下記のお問い合わせ先アドレスへメールでお知らせ下さい。

小田急線 参宮橋



4 その他

※駐車場はありません。

※昼食は、持参いただくか会場内のレストランをご利用ください。

※持ち物 筆記用具、定規など

※宿泊は各自で手配してください。

アクセス

小田急線参宮橋駅下車 徒歩約7分

昨年参加された方の声

※目の前のことをこなす日常に追われますが、教育を違う視点や本質から問う意味で、この会はとても貴重だと思いました。思い切って参加してよかったです。

※初めての参加でした。本会のテーマと会長さんのご挨拶に、教師という使命を再認識しました。日ごろのしがらみなどより大切なものが、毎日向き合っている子供たちの笑顔や日常の中にあることに、考えをめぐらすことのできた2日間でした。

※実践交流分科会では、算数の学習をするにあたり、日常生活と結びつけること、子どもに体感させて進めることの大切さを改めて感じました。また、なぜそれを学習するのかという必然性を子供たちに感じさせることの重要性を感じました。

お問い合わせ先

sujituken@outlook.jp